

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 外国語学部中国語学科	職名 教授	氏名 山口 建治	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
中国学演習（ゼミ）の運営指導の改善		2014年 5月 ～現在に至る	lineを使って、予習・復習などの指導を行っている。		
2 作成した教科書、教材					
「中国語を学ぶ魅力」共同執筆		2008年 9月 ～現在に至る	中国語を学び始めようとしている人を対象に、中国語を学ぶ魅力について、学科の3人の教員がそれぞれの立場で執筆し、編集刊行した。		
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
五道神と武塔神	単著	2013年 3月	人文学研究所報 (No. 4 9)		
瘟神の形成と日本におけるその波紋—オニ（鬼）の発生と怨霊・御霊—	単著	2013年 3月	年報 非文字資料研究 (9号)		

唐代瘟神「五帝」考— 御霊信仰の源流—	単著	2014年 3月	年報 非文字資料(神奈 川大学日本常民文化研究 所 非文字資料研究セン ター) (10)		217-232頁
武塔神とは何だったか —五道神から武塔神・ 五頭天王・牛頭天王へ— (査読付)	単著	2014年 3月	『口承文芸研究』 (37)		
その他					
武塔神とは何だったか —五道(大)神から五 頭天王・牛頭天王へ—	単独	2013年 6月	第37回日本口承文芸学 会大会(東京)		
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
1969年 5月～現在に至る		東北中国学会(国内学会)会員			
1971年10月～現在に至る		日本中国学会(国内学会)会員			
1986年10月～現在に至る		東方学会(国内学会)会員			
2001年 4月～現在に至る		個人研究 雛の儀礼と鬼(オニ)			
2005年 4月～現在に至る		個人研究 中国民間文芸			
2005年 4月～現在に至る		個人研究 日中比較文化			
2005年 4月～現在に至る		日本口承文芸学会(国内学会)会員			
2012年 1月～現在に至る		個人研究 日中の瘟神儀礼			

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 外国語学部中国語学科	職名 教授	氏名 鈴木 陽一	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
「張擇端「清明上河圖」 とその影響力	共著	2012年 1月	(『「清明上河圖」と徽 宗の時代 (勉誠出版社))	伊原弘編 執筆者総数20名、 伊原弘、鈴木陽一、福田アジオ 等	pp. 237-258頁
論文					
なし					
その他					
なし					
III 学会等および社会における主な活動					

年月	内容
1974年10月～現在に至る	日本中国学会(国内学会)会員
1974年11月～現在に至る	中国語学研究会(後、中国語学会)(国内学会)会員
1989年 4月～現在に至る	その他(科研費) 江南の地域文化と小説
1989年 6月～現在に至る	東大中国学会(現中国社会文化学会)(国内学会)会員
1989年10月～現在に至る	東方学会(国内学会)会員
1991年10月～現在に至る	現代中国学会(国内学会)会員
1994年 4月～現在に至る	個人研究 小説における「語り」(narrative discourse)の研究
2003年 4月～現在に至る	その他(21世紀COE) 図像から読み解く中国近世の民衆の生活
2003年 4月～現在に至る	国際共同研究(文部省COE)人類文化研究における非文字文化資料の体系化
2003年 4月～現在に至る	機関内共同研究(神奈川大学奨励助成金)アジアにおける探偵小説の起源
2006年 4月～現在に至る	個人研究 中国小説史
2006年 4月～現在に至る	個人研究 小説と地域文化
2008年 7月～2013年 3月	科学研究費補助金 1,400,000円 「特別推進研究」 「清朝宮廷演劇文化の研究」(研究分担者)

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 外国語学部中国語学科	職名 教授	氏名 大里 浩秋	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
中国近現代史概説		2005年 ～2010年	毎日の講義に関係のある国像・映像を流して、説明を加える。		
2 作成した教科書、教材					
中国近現代史概説		2003年 ～2010年	毎回の講義にレジメを用意すると共に参考になる論文あるいは新聞記事等を配布して説明する。		
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
中国の大学での講義		2005年 3月 ～現在に至る	上海華東師範大学歴史系にて、学部生、大学院生への講義を2回行う。		
中国の大学での講義		2010年 3月 ～現在に至る	遼寧師範大学歴史系大学院生に、日本における中国近代史の研究状況について講演を1回行う。		
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
なし					
その他					
なし					

Ⅲ 学会等および社会における主な活動	
年月	内容
1983年 4月～現在に至る	中国社会文化学会(国内学会)会員
1985年 5月～現在に至る	中国研究所 所員
1985年11月～現在に至る	孫文研究会 会員
1987年 1月～現在に至る	日本現代中国学会(国内学会)会員
1993年 6月～現在に至る	中国研究所 理事
1995年 4月～現在に至る	中国研究所編集委員会 委員
2004年 4月～現在に至る	「中国年鑑」編集委員会 委員
2005年 4月～現在に至る	個人研究 中国における日本租界史
2005年 4月～現在に至る	個人研究 中国人日本留学史
2005年 4月～現在に至る	個人研究 日本華人華僑史
2006年10月～現在に至る	日本現代中国学会(国内学会)理事

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 外国語学部中国語学科	職名 教授	氏名 松村 文芳	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例			
中国語自動学習室1・2の設置と運用		1999年 4月 1日 ～現在に至る	神奈川大学外国語学部中国語学科の学生・院生全員のためのWindowsNTによるサーバー・クライアントシステムを作成し、インターネットの閲覧、メールの交換、マルチメディア教材による中国語学習、卒業論文・レポートの作成が実施できる環境を実現し、運用中、現在のOSはWindows7。
2 作成した教科書、教材			
なし			
3 教育上の能力に関する大学等の評価			
2013年度 グッドティーチャー賞 (神奈川大学)		2013年10月25日	パソコンを利用した中国語教育への貢献 中国語自動学習室開設への取り組み
4 実務の経験を有する者についての特記事項			
なし			
5 その他			
博士学位論文主査(指導教授) 2010年度		2011年 3月31日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 氏名： 张 仲霏 (中华人民共和国) 2. 学位の種類： 博士 (文学) 3. 学位記番号： 博甲第151号 4. 学位授与の日付： 2011年3月31日 5. 学位授与の要件： 学位規則第4条第1項該当 6. 学位論文の題目： 現代中国語における“给”構文の意味と論理構造 7. 論文審査委員： 主査 教授 松村文芳 副査 教授 彭 国躍 副査 准教授 加藤宏紀 副査 准教授 村井寛志 副査 梁 继国(茨城大学教授)

博士学位論文主査（指導教授）2012年度	2013年 3月31日	1. 氏名： 于 飞(中华人民共和国) 2. 学位の種類： 博士(文学) 3. 学位記番号： 博甲第172号 4. 学位授与の日付： 2013年3月31日 5. 学位授与の要件： 学位規則第4条第1項該当 6. 学位論文の題目： 中国語における比較構文の意味と論理 7. 論文審査委員： 主査 教授 松村文芳 副査 教授 彭 国躍 副査 准教授 加藤宏紀 副査 梁 继国(茨城大学教授) 副査 布川雅英(神田外語大学准教授)
----------------------	-------------	--

II 研究活動

著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
なし					
その他					
現代中国語の主要な統 語構造の論理形式	単独	2011年 7月	大東文化大学…国際シン ポジウム 「中国言語文 化研究の新展望」(東京)		

III 学会等および社会における主な活動

年月	内容
	個人研究 現代中国語意味論
1990年～2010年	個人研究 形式意味論と主辞駆動句構造文法による現代中国語意味論の研究
2005年 4月～現在に至る	日本中国語学会(国内学会)会員
2005年 4月～現在に至る	日本中国語学会(国内学会)評議員

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 外国語学部中国語学科	職名 教授	氏名 彭 国躍	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
大学院教育 研究指導		2004年 4月 1日 ～2013年 3月31日	指導教員として指導した博士論文のテーマ： 「近代中国語の罵倒語の研究—社会言語学的アプローチ」(2008年3月) 「中国人の言語意識と言語評価の研究—北京・天津・上海・杭州の大学生を例として」(2008年3月) 「中国大陸と台湾における現代中国語指示詞の対照研究—這・那からみた遠近認知の違いについて」(2013年3月) 指導教員として指導した修士論文のテーマ(一部)： 「中国における危機言語と普通話政策」(2005年3月) 「北京語の語気助詞に関する社会言語学的研究—海淀区、西城区」(2007年3月) 「現代中国語発話動詞の意味機能と方言分布」(2013年3月)		
2 作成した教科書、教材					
現代中国語入門(共著) 白帝社		2005年 4月 ～現在に至る			
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					

古代中国語のポライトネス—歴史社会語用論研究	単著	2012年11月	(ひつじ書房)		
グローバリズムに伴う社会変容と言語政策	共著	2014年 3月	4		25-40頁
論文					
現代中国語の色彩とメタファー—下位概念化の認知意味論的考察	単著	2011年 3月	『色彩と文化』 (お茶の水書房)		
中国語モダリティの機能体系—Palmerモデル適用の試み	単著	2012年 3月	『モダリティと言語教育』 ひつじ書房		
中国語敬語表現の歴史と現状—マクロ的通時的考察	単著	2012年11月	『配慮はどのように示されるか—日本語の多面性とアジアの諸言語』 ひつじ書房		
現代漢語的禮貌功能與情態含義—兼析日本學生的母語干涉與“失禮”困惑 (査読付)	単著	2013年 1月	國際漢語學報 3(2)		95-102頁
南薫造『從軍日記』の図版検証—戦前繪葉書の美術史拾遺 (査読付)	単著	2013年 3月	『神奈川大学評論』 74		152-162頁
「孔子学院」、たかが名前、されど名前—変容する中国社会のイデオロギー	単著	2013年 7月	『神奈川大学評論』 (No. 75)		
從軍画家瀬野覚蔵とその戦地記録画—戦前繪葉書による美術史拾遺	単著	2013年 8月	『人文学所報』 (神奈川大学人文学研究所) (No. 50)		
「孔子学院」と中国の国家戦略—言語・教育・外交の政策的変容	単著	2014年 3月	神奈川大学言語学研究叢書『グローバリズムに伴う社会変容と言語政策』 4		

その他					
敬語の多様性—外国語の敬語との対照（中国）	単著	2011年 6月	『敬語事典』（朝倉書店）		
敬語の教育と敬語の誤用—中国人の場合	単著	2011年 6月	『敬語の事典』 朝倉書店		
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
1989年 4月～現在に至る		日本語学会(国内学会)会員			
1989年 9月～現在に至る		日本中国語学会(国内学会)会員			
1998年 1月～現在に至る		日本社会言語科学会(国内学会)会員			
2002年10月～現在に至る		日本語用論学会(国内学会)会員			
2005年 4月～2014年 3月		日本語学会(国内学会)会員			
2005年 4月～現在に至る		機関内共同研究（神奈川大学学術奨励研究）中国の言語政策			
2006年～現在に至る		個人研究 敬語・ポライトネス研究			
2006年 4月～現在に至る		個人研究 歴史語用論研究			
2007年 4月～現在に至る		個人研究 命名論研究			
2009年 4月～現在に至る		個人研究 色彩意味論研究			
2009年 7月～現在に至る		日本語学会(国内学会)役員（大会運営委員）			
2010年 1月～現在に至る		個人研究 中日言語行動の対照研究			

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 外国語学部中国語学科	職名 教授	氏名 孫 安石	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
メディア教材の作成		2003年 4月 ～現在に至る	中国語学科3, 4年生による上海現地の取材、編集、DVDの作成		
授業アンケートとE-mailによる質問・回答		2003年 5月 1日 ～2014年 3月	授業評価についてアンケートを実施し、学生の意見を積極的に取り入れる方向で授業内容を改善した。また、授業中の質問をE-mailからも受け付ける方法を採用し、学習内容の共有、相互学習の意義を確認した。		
詳細な授業内容のシラバス作成と討論の採用 (リアクションペーパーの活用)		2003年 5月 1日 ～2014年 3月	(授業科目：中国近代史特講、孫安石ゼミナル) 学生自身の興味、関心を高め、自主的な学習を行うねらいとして、詳細な授業内容を紹介するシラバスを作成し、授業では毎回の進捗をチェックしている。		
2 作成した教科書、教材					
学生発のメディア教材の作成 (中国語学科)		2004年 2月 ～2014年 3月	中国語学科3、4年生を中心に中国社会の様々な問題を取り上げたビデオ教材を制作している。平成15年度には「上海の大学生の生活」を取り上げたビデオ教材 (45分) を制作し、平成16年度は「大都市上海のゴミ問題とリサイクル」を取り上げたビデオ教材を制作した。		
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
オフィスアワーの設定		2003年 5月 1日 ～2014年 6月	学生に対する学習効果を高める工夫としてオフィスアワーを設定し、学生の相談 (教育、生活など) に積極的に応じている。これによって1、2年生からの学究面からの相談が飛躍的に増加したことを実感できた。		
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					

『租界研究新動態』（中国語）	共著	2011年 3月	（上海人民出版社）	大里浩秋	
『近代アジアの自画像と他者—地域社会と「外国人」問題』	共著	2011年 3月	（京都大学出版会）	貴志俊彦	
貴志俊彦編『近代アジアの自画像と他者—地域社会と「外国人」問題』	共著	2011年 3月	（京都大学出版会）	貴志俊彦	
貴志俊彦編『近代アジアの自画像と他者—地域社会と「外国人」問題』	共著	2011年 3月	（京都大学出版会）	貴志俊彦	
『近代中国都市案内集成—上海編』監修・解説		2011年 5月	（ゆまに書房）		
『電波・電影・電視—現代東アジアの連鎖するメディア』青弓社、2012年10月	共著	2012年10月	（青弓社） 2012年10月	三澤真美恵他編著孫安石	
『辛亥革命とアジア』御茶の水書房、2013年	共著	2013年	（御茶の水書房）	大里浩秋・李廷江編	
『戦後日本と中国・朝鮮—「ブランク文庫」を一つの手がかりとして』（研文出版、2013年3月）	共著	2013年 3月	（研文出版）	大里浩秋他編著	
近現代中日留学生史研究新動態	共著	2014年 3月	（上海人民出版社）	大里浩秋・孫安石共編	
論文					
「上海の歴史変遷と都市計画」	単著	2010年	『地図情報』 30(1)		4-8頁
「南京国民政府と教科書審定」	単著	2010年 4月	『中国研究月報』 （第746号）		1-13頁

「中国の流行語事情— 昨年のは既に歴史？」	単著	2010年 9月	『TONGXUE』 同学社 (40)		10-12頁
その他					
なし					
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
1989年 4月～現在に至る		韓国現代中国学会(国内学会)会員			
1995年 9月～現在に至る		日本上海史研究会 会員			
1995年 9月～現在に至る		日本中国社と文化学会(国内学会)会員			
1997年 4月～現在に至る		日本「歴史学研究会」 会員			
1997年 4月～現在に至る		日本東アジア近代史研究会 会員			
1998年 4月～現在に至る		日本上海史研究会(国内学会)会員			
1999年～現在に至る		個人研究 上海の日本人社会の研究			
2000年～現在に至る		個人研究 戦前中国における日本租界の研究			
2000年 4月～現在に至る		日本現代中国学会(国内学会)会員			
2005年 4月～現在に至る		個人研究 東アジア近代史とラジオ放送			
2005年 4月～現在に至る		機関内共同研究(学内共同研究)上海『良友』画報の研究(研究代表者)			
2006年 4月～現在に至る		東アジア近代史研究会(国内学会)会員			
2011年 4月～2014年 3月		神奈川大学人文学研究所 所長			
2012年～現在に至る		日本現代中国学会 理事			
2012年 4月～現在に至る		中国研究所 理事			
2012年 4月		中国研究所(社) 理事 編集委員会			
2013年 4月		中国研究所(国内学会)会員			
2013年 4月～現在に至る		中国研究所(国内学会)理事			
2013年 4月～現在に至る		日本現代中国学会(国内学会)理事			

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 外国語学部中国語学科	職名 准教授	氏名 加藤 宏紀	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
パソコンを利用した授業サポート		2003年 4月 1日 ～現在に至る	(授業科目：中国語表現法演習Ⅲa(情報)) 授業で使用了中国語聞き取り教材の音源をデジタル化し、中国語自動学習室でいつでも復習できるように学生の学習環境の整備を図った。同時に、これを利用して、毎週、学生に課題を出し、聞き取り能力の向上に成果を上げた。(平成15年4月1日～)		
視聴覚資料の収集・整備と授業への活用		2003年 4月 1日 ～現在に至る	テレビやラジオで放送されている中国番組を録画・録音し、教材の資料として活用する。中国国内のニュースや時事問題を扱った番組からドラマやトーク番組といったものまで幅広い内容をカバーすることで、学生に多様なニーズへの対応を図っている。(平成15年4月1日～)		
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
なし					
論文					
なし					

その他					
なし					
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
2005年 4月～現在に至る		個人研究 形式意味論による現代中国語の文の意味記述			
2005年 4月～現在に至る		個人研究 現代中国語の時間体系の意味研究			

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 外国語学部中国語学科	職名 准教授	氏名 村井 寛志	大学院における研究指導 担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
香港大学学生と神奈川大学学生による研究報告・討論会の実施		2009年 9月15日 ～現在に至る	香港大学のSchool of Modern Culture and Languages and Culturesの学生有志と神奈川大学中国語学科村井ゼミ生による研究報告・討論会を企画・実施した。実施日は2009年9月15日、会場は香港大学Meng Wah Complexで、使用言語は日本語、中国語。神奈川大学側の学生（4組8人）は現代日本の若者文化に関する報告、香港大学側は香港の大衆文化状況についての報告を行い（2組3人）、内容について活発な討論が行われた。討論会終了後は、香港大学Honorary LecturerのBaniel Cheung先生、及び同大学Department of Japanese Studiesの卒業生を交え、懇親会が行われた。神奈川大学学生は翌16日も香港に滞在し、市内を見学した。		
上海師範大学学生と神奈川大学学生による研究報告・討論会の実施		2010年 9月17日 ～現在に至る	上海師範大学国際交流処との協力の下、同大学学生有志と神奈川大学中国語学科村井ゼミ生による研究交流会を実施した。日本と中国の現代文化について学生による報告・討論が行われ、学生間の交流と相互理解を深めた。		
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数

著書					
並木頼壽・杉山文彦編著『中国の歴史を知るための60章』	共著	2011年 1月	(明石書店、2011年1月)		
村井寛志・張翔・大里浩秋・小林一美『中国と日本—未来と歴史の対話への招待—』	共著	2011年 2月	(御茶の水書房、2011年2月)		
論文					
Journalism and Advertisement in Shanghai During the Republican Period.	単著	2010年10月	Studies in Urban Humanities Vol.1, Institute of Urban, Humanities, University of Seoul. Oct. 2010.		
「デジタル化時代の中国労働者—珠江デルタの新世代（農）民工と携帯をめぐる言説から—」	単著	2010年12月	『神奈川大学評論』67（特集＝変貌する中国社会—グローバル化する世界のなかで—）2010年12月（特集 変貌する中国社会—グローバル世界のなかで）		pp. 111-118頁
「マレーシア華人新村の形成過程と地方政治—スレンバン近郊の2新村における現地調査から—」	共著	2011年 3月	『人文学研究所報』45	坪井祐司・村井寛志	
「マレーシアのゴム農園地域における華人新村の形成と住民生活の編成—マレーシア・スグリスンピラン州マンバウ新村の事例から—」	共著	2011年10月	『人文学研究所報』（神奈川大学人文学研究所）46	東條哲郎との共著	101-114頁

「非常事態時期マラヤにおける植民地的／冷戦的近代化とその横領—スクウォッター再定住事業と植民地政府、華人有力者、地域住民の行動—」	単著	2013年 3月	永野善子編『植民地近代性の国際比較—アジア・アフリカ・ラテンアメリカの歴史経験—』（御茶の水書房）		131-155頁
「辛亥革命期～民国前期の地方自治の現代的な意味—陝西省における省議会と県自治財政の事例から—」	単著	2013年 4月	大里浩秋・李廷江編『辛亥革命とアジア—神奈川大学での辛亥100年シンポ報告書—』（御茶の水書房）		348-361頁
「“デモの都” 香港とアイデンティティをめぐる隘路」	単著	2013年 7月	『神奈川大学評論』75		
「ポストコロニアルの空手とブルース・リー—トランスナショナルな武術をめぐる文化政治—」	単著	2013年 9月	『現代思想』41(13)		
その他					
speech: "Journalism and Advertising Business in Shanghai, 1920-1930"	単著	2010年 6月	at Symposium: Border Crossing and Urban Research: Mass-Media, Migration in the Age of Global Area, The University of Seoul, 20th, June, 2010.		
翻訳・陳祖恩著（大里浩秋監訳）『上海に生きた日本人—幕末から敗戦まで—』	共著	2010年 7月	（大修館書店、2010年7月）		

「碑文なき石碑が語るマレーシアの抗日の記憶をめぐる抗争」	単著	2011年 7月	『非文字資料研究』（神奈川大学日本常民文化研究所・非文字資料センター） 26		14-15頁
speech: "Cold War and Reorganization of the Overseas Chinese Communities: In the Case of the Chinese New Villages in Malaysia"	単著	2011年11月	Comparative Studies on Asia: Colonialism and Modernity NUS Southeast Asian Studies Department (SEAD)-Kanagawa University Joint Workshop 2011 Venue: Malay Studies Conference Room, NUS Southeast Asian Studies Department		
書評・三澤真美恵著『「帝国」と「祖国」のはざま-植民地期台湾映画人の交渉と越境-』	単著	2012年 8月	史学雑誌 121(8)		1483-1489頁
口頭報告「中華人民共和國建國前後の難民流入和港英政府」	単著	2013年 3月	The 8th Annual Conference of The Asian Studies Association of Hong Kong at The Hong Kong Institute of Education		
口頭報告「非常事態時期マラヤのスクウォーター再定住事業における植民地政府、華人有力者、地域住民-スレンバン近郊「自由新村」の形成過程から-」	単著	2013年 6月	日本マレーシア学会（JAMS）関東地区研究会6月定例 於立教大学池袋キャンパス		
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					

年月	内容
1998年 6月～現在に至る	歴史学研究会(国内学会)会員
1999年 4月～現在に至る	東アジア近代史学会(国内学会)会員
1999年 8月～現在に至る	中国社会文化学会(国内学会)会員
2004年 6月～現在に至る	史学会(国内学会)会員
2005年 4月～現在に至る	個人研究 中国近現代のメディアと文化
2005年 4月～現在に至る	個人研究 非常事態時期マラヤにおける華人新村の形成過程
2009年 2月～現在に至る	日本華僑華人学会(国内学会)会員
2010年 4月～現在に至る	個人研究 中華人民共和国建国前後の香港社会の再編成

教育研究等環境

専任教員の教育・研究業績

所属 外国語学部中国語学科	職名 外国人特任助教	氏名 朱 琳	大学院における研究指導 担当資格の有無 (無)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育方法の実践例					
なし					
2 作成した教科書、教材					
なし					
3 教育上の能力に関する大学等の評価					
なし					
4 実務の経験を有する者についての特記事項					
なし					
5 その他					
なし					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
『内藤湖南と梁啓超』 (仮題)	単著	2013年	(中央公論新社)		
論文					
「中国史像と政治構想 ー内藤湖南の場合」	単著	2010年10月	『国家学会雑誌』		
「二つの中国認識ー吉 野作造と内藤湖南」	単著	2010年11月	『吉野作造研究』7、吉 野作造記念館(第2回「 吉野作造研究賞」優秀賞 受賞		15-29頁

「内藤湖南の中国絵画論」	単著	2011年 3月	『湖南』31、内藤湖南先生顕彰会		30-38頁
「梁啓超の「文明」認識およびその変遷」	単著	2011年 3月	『東アジア文化交渉研究』4、関西大学文化交渉学教育研究拠点 (ICIS)		193-212頁
「梁啓超における中国国家体制の構想―「自治」と「聯邦制」を手がかりに」	単著	2012年 2月	『東北アジア研究』16号、東北大東北アジア研究センター、45～71頁		
「梁啓超的「革命」論」(中国語)	単著	2012年 2月	『東アジア文化交渉研究』5、関西大学文化交渉学教育研究拠点 (ICIS)		115-129頁
「田岡嶺雲とその時代―ある明治の青春」	単著	2012年 2月	『近代世界の「言説」と「意象」―越境的文化交渉学の視点から―』関西大学文化交渉学教育研究拠点 (ICIS)		87-109頁
その他					
エッセイ・「一期一会」	単著	2010年 6月	『2009年度渥美国際交流奨学財団年報』		
書評「学界展望アジア政治思想史溝口雄三・池田和久・小島毅『中国思想史』東京大学出版会、2007年4月」	単著	2011年 4月	『国家学会雑誌』第124巻3・4号、国家学会		372-375頁
「内藤湖南における中国史像の再構成―一時局認識と「唐宋変革」論」	単著	2011年 6月	東京大学政治理論研究会、東京大学弥生キャンパス総合研究棟にて		

「内藤湖南の辛亥革命論―「唐宋変革」論と関連しながら」	単著	2011年 8月	第一回日中若手歴史研究者セミナー（主催：笹川平和財団）、沖縄・琉球大学法文学部にて		
「田岡嶺雲とその時代―ある明治の青春」	単著	2011年12月	ICIS第4回次世代国際学術フォーラム「近代世界の「言説」と「意象」―越境的文化交渉学の視点から―」、大阪、関西大学以文館4階セミナースペースにて		
『孔子学院2011年次報告書』	単著	2012年 4月	中国国家漢語国際推广領導小組弁公室（略：国家漢弁）		
国内外研究発表・招待講演：「植民地時代『台湾日報』主筆内藤湖南の台湾論」	単著	2012年 8月	金球華人精英論壇、台湾・台北大学		
翻訳『張学良回想録』3巻	共著	2013年	雄松堂		
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
年月		内容			
2005年 7月～現在に至る		中国社会科学研究会幹事			
2007年 4月～現在に至る		言論NPO/China Daily「東京―北京フォーラム」協力者			
2008年 4月～現在に至る		人間文化研究機構（NIHU）現代中国地域研究早稲田大学幹事拠点翻訳チームの中心メンバー			
2010年 4月～2011年 3月		文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（研究活動スタート支援）平成22年度 課題番号：22820018			
2010年11月～現在に至る		『朝日新聞』の電子雑誌『新鮮日本』編集			